

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7年 4月 1日

事業所名 進学と就職支援 あなたが宝モノ 泉南兎田教室



事業所による自己評価の令和6年度の結果を公表します。  
自己評価表結果や保護者等アンケート結果をもとに支援の資質向上に努めていきます。  
これからも進学と就職支援あなたが宝モノ泉南兎田教室をどうぞよろしく願いたします。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%		プログラムに応じて席の配置や環境設定を変更し、過ごしやすい環境設定に努めてまいります。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%		法令を遵守しています。また、法令の配置数に加えて、常勤換算で児童指導員等を1名以上と機能訓練担当職員を配置し、より行き届いた対応をすることを心がけています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	50%	50%		教室の玄関前に3段の階段があります。車いすの方のためなど必要に応じて置き型スロープを設置しております。教室内外にて補助が必要な場合は、スタッフが対応いたします。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%		療育終了後に清掃、消毒を行い、環境整備に注力しております。また、ご利用者様の特性に合わせ、席配置等を調整し、各々が活動しやすい環境づくりを行っております。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	75%	25%		教室の構造上、個室の設置は難しいため、個室対応等の際にはパーティションで仕切られた個室にて対応を行っております。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	75%	25%		主に、個別支援計画の作成にあたり、PDCAサイクルののっとり、職員が参画しております。また支援計画を更新した際は、スタッフ全員に計画の共有をしています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		今後定期的にアンケート調査を実施し、よりよい評価を頂けるよう、業務改善につなげていくよう努めます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		朝礼等の際に、スタッフの意見を共有する時間を設け、スタッフの意見を共有しやすい環境づくりを行っております。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75%	25%		コンサルティング会社と提携し、常にご利用者様にとって何が最善の療育となるかを考え業務内容の評価と改善策の提案を受けています。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%		新人研修はおよそ一か月の座学と実地訓練を含めた研修を行っています。また、その後も定期的に研修、模擬授業等を行い、資質向上に努めています。今後は教室の特色に合った研修の機会を確保し、より向上できることを目指します。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%		療育内容の公表をHPにて掲載しております。また、SNSを活用し日々の活動を掲載しております。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%		必要に応じてモニタリングを行い、支援計画の更新前にはアセスメントを行うことで、お子様と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、サービス計画を作成しています。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	75%	25%		計画が作成された際に、全スタッフに周知を行うとともに、日々の朝礼等で振り返りを行い、スタッフ全員で支援の方向性について検討する機会を設けています。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		計画作成時に支援目標等を全スタッフで共有するとともに、日々の振り返りにて計画に沿った支援が行えるように検討しています。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%		事業所でのルールやシステム化されたプログラムの中で、現状把握に努めています。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な	100%	0%		計画の中に、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」、「地域支援・地域連携」の項目を設定し、計画を策定しています。また、必要に応じて各種外部機関と連携を行い、支援内容を設定しております。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%		利用者様の支援計画に基づき、全スタッフでプログラム作成会議や模擬を行い、療育内容を共有した上で、日々の活動プログラムを立案しています。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	75%	25%		月ごとに設定したスケジュールに沿って、プログラムを実施しています。また、スタッフ間での情報共有をしながら、療育内容に細やかな変化を加えています。

提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	聞き取った個々の状況・課題に合わせて、検討を行い、集団活動の中で、適切な療育が行えるよう放課後等デイサービス計画を作成しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	毎日の進行表を元に、プログラムの内容、それぞれの役割、来所する子ども達を確認し合っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	75%	25%	送迎や記録で時間がとれないため翌日の支援開始前に行っていますが、毎日振り返りを行うことで療育内容や支援方法に関する気づきを共有し、次の支援に引き継いでいます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	75%	25%	その日の療育内容や気づき、次回への引継ぎなどを日報に記録することを徹底し、より良い療育の提供に繋げています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	個別支援計画に基づき、定期的にモニタリングを実施し、ニーズ・課題の見直しの必要性を日々の日報を通して判断しています。
関係機関や保護者との連携	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	ガイドラインの総則の基本活動を複数、柔軟に組み合わせた支援を行っています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	プログラム等を複数個開催することで、ご利用者が自分で行いたい活動を選択できるような形式のプログラムを実施しております。また、必要に応じてご利用者が行いたいと伝えてくれるプログラム等の実施検討を行う等、ご利用者様自身が自発的に活動を決定できるようにプログラムを設けています。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	教室長または児童発達支援管理責任者が参画しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%	25%	必要に応じて地域の関係機関と連携を行い、より適切な支援が行えるようにしております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	主には、保護者様を通じての連絡調整となりますが、学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、お子様の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）をご協力頂き、適切に行っております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	75%	25%	今後は必要に応じて、出来る限り、就学前に利用されていた施設へ情報共有・相互理解できるよう働きかけていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	75%	25%	できる限り担当者会議を行い、就労支援事業所など各関係機関との連携をとれるようにしています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	75%	25%	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関が企画・開催している研修に積極的に参加し、また訪問することで連携をとっていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	事業所内での療育の質を高めることを重点的に取り組んできたため、なかなか交流ができておりませんが、今後、障害のないお子様との交流の機会を作っていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	75%	25%	教室長または児童発達支援管理責任者が参画しています。
保護者へ	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	75%	25%	送迎の際や電話、連絡帳、メール、LINEなどで日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持つよう努めています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	75%	25%	相談のあった保護者には積極的に行っています。また外部講師を招いたセミナーを年1回ほど企画し保護者の方にご参加いただきご家庭での支援に役立ててもらっています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	療育説明会での支援内容のご説明と同時に、ご契約前には運営規定並びに利用者負担について丁寧に説明しています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	支援計画策定におけるアセスメントの際に、保護者様からの意見の聞き取りを行い支援計画に反映することで、可能な限りニーズに沿った支援が行えるようにしています。また、可能なご利用者様に対しては、本人にも聞き取りを行い、ご利用者様のニーズに合った支援を行うよう取り組みを行っています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	契約時、計画更新時に保護者様に計画を確認いただき、同意の上支援を実施できるように努めております。
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	送迎の際や電話、連絡帳、メール、LINEなど様々なツールを用いて日頃からお子様の状況を保護者と伝え合い、お子様の発達の状況や課題について共通理解を持つよう努めています。	
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	25%	75%	今年度は保護者会を開催することができませんでしたが、今後は企画して保護者様にご参加して頂ける機会を作りたいと思います。	

の 説 明 等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	随時、電話・連絡帳・メール・LIME等で相談や申し入れについて対応の体制を整備しております。また、相談窓口を設けており、そのことは周知しています。相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	毎月活動内容を載せた宝モノ通信を保護者向けに発行しています。その他にLINE、HP、ブログ、Facebook等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	子どもには視覚情報を多用して意思疎通できるようにしています。保護者との意思疎通ツールとしてLINEなどできるだけ視覚的に記憶・記録に残るツールの使用を心がけています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	25%	75%	今年度は、地域の事業所様へ見学・体験をさせていただくイベントを実施しました。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員に周知しています。新型コロナ感染に伴い保護者様にもご理解とご協力をいただきました。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	BCPを策定し、全スタッフに緊急時の対応について周知を行っております。また、地震・火災に備え療育時間中に避難訓練を毎月行っております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	50%	50%	契約時に服薬や予防接種、てんかん発作の有無等について確認を行い、必要に応じてスタッフ間で情報共有と対応方法について検討を行っております。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	入会時に事前調査票に記入していただいた情報と面談を元に食物アレルギーの有無を把握し、主治医の指示書がある場合はそれに基づいた対応をしています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画を策定し、スタッフ間で共有を行うとともに、日々の療育の中で危険な場面があれば共有、改善を行えるようにしています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	75%	25%	契約時に安全確保や緊急時の対応について説明を行い、周知を行っております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハット事例集を作成して共有し、事故防止に努めています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止セミナー等に職員が参加し継続的に研修をしています。また、職員間でも研修を開いています。今後もセミナーに参加した職員を通して、スタッフにも内容が広く共有できるようにしていきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、お子様や保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載する仕組みを構築しています。	